

令和3年度 全国学力・学習状況調査（6学年） 本校の結果まとめ

6年生が5月に行った全国学力・学習状況調査の結果をまとめました。今後の中期学校経営方針や学力向上アクションプラン等に反映させると共に、効果的な学習指導をめざしていきます。

《教科別学習状況調査結果》 平均正答率（％）

	国語	算数
本校	61	69
全国との差	-4	-1
横浜市	65	72
全国との差	±0	+2
全国	65	70

◎調査結果に特徴のある設問

～全国の正答率との比較～

国語：（全設問数14の内、3つが全国に比べて10ポイント以上低い。）

設問3二 「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」では10ポイント低い。

設問3三（1）ア「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」では16ポイント低い。

設問3三（2）イ「文の中における主語と述語との関係を捉えることができる」では23ポイント低い。

算数：（全設問数16の内、1つが全国に比べて5ポイント以上高く、4つが5ポイント程度低い。）

設問2（3） 「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる」では7ポイント低い。

設問3（2） 「棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる」では6ポイント低い。

設問4（1） 「示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる」では5ポイント低い。

設問4（2） 「商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる」では**7ポイント高い**。

設問4（3） 「小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できる」では5ポイント低い。

◎各教科における観点別正答率

国語の内容別平均平均正答率（％）

		本校	横浜市	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	60	67	68
	A 話すこと・聞くこと	78	80	78
思考力、判断力、表現力等	B 書くこと	56	62	61
	C 読むこと	47	50	47

算数の領域別平均正答率（％）

	本校	横浜市	全国
A 数と計算	63	64	63
B 図形	55	59	58
C 測定	74	76	75
C 変化と関係	78	79	76
D データの活用	75	78	76

《生活習慣・学習習慣（質問紙調査）結果》

◎特徴的だった結果

- ・「臨時休校期間中に、規則正しい生活を送っていましたか」の質問に、「当てはまらない」「どちらかといえば当てはまらない」と回答した児童の割合が、全国と比べ5ポイント高い。
- ・「臨時休校期間中に、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか」の質問に、「分からないことをそのままにした」と回答した児童の割合が、全国と比べ4ポイント高い。